

令和2年4月 庄内校は新しいステージへ！

○ 学科名及びコースの見直し

山形県立産業技術短期大学校庄内校は、平成9年4月に開校以来、地域の産業界・経済界を始めとする県民の皆様より高い評価をいただいていたところですが、18歳人口の減少や、技術の高度化、多様化する社会環境のニーズに対応していくために、カリキュラム見直しの検討を進めてまいりました。

このたび、検討結果に基づき、学科名及び各科コースを見直し、これまでの技術分野の修得に加え、学生自らが考え、課題を解決していくカリキュラムを取り入れることにより、時代に即応できる人材育成をすすめてまいります。

**技術も、資格も、就職も。
自分の夢を2年でかなえる新しい挑戦!!**

○ 庄内校の新しいステージ目標

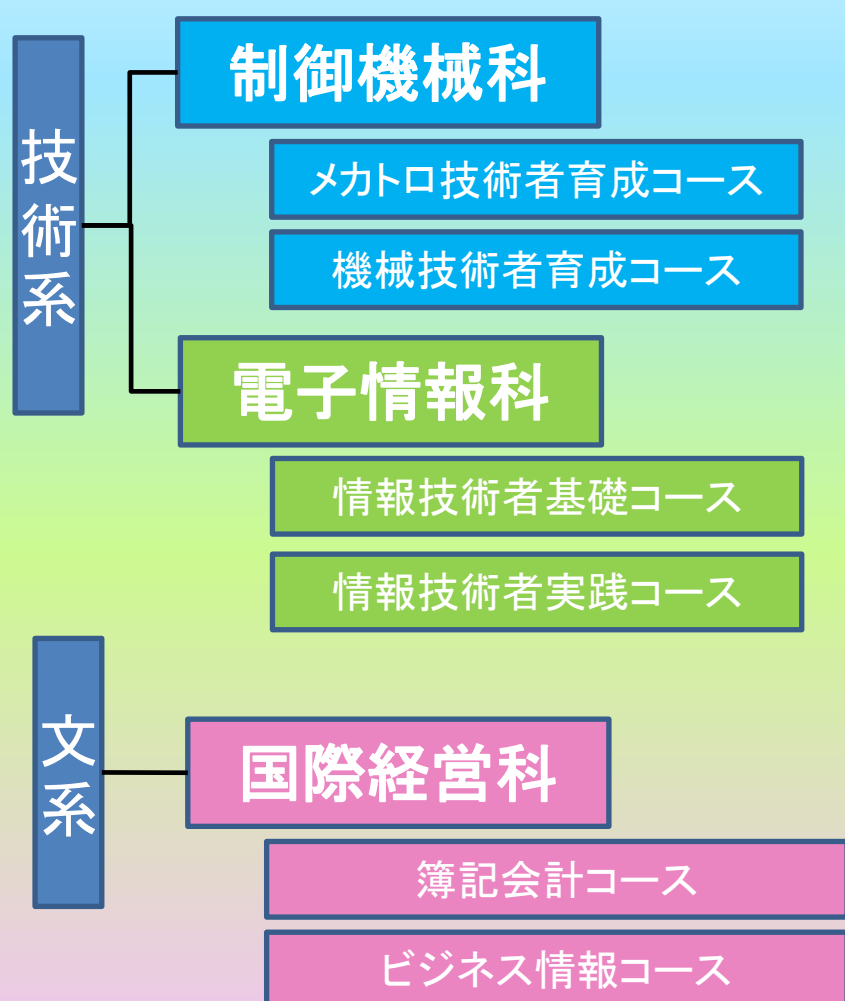
- ★ 高度情報化と技術革新に即応できる実践的技術者の育成
- ★ 企業会計及び情報化社会ビジネスのスペシャリストの育成



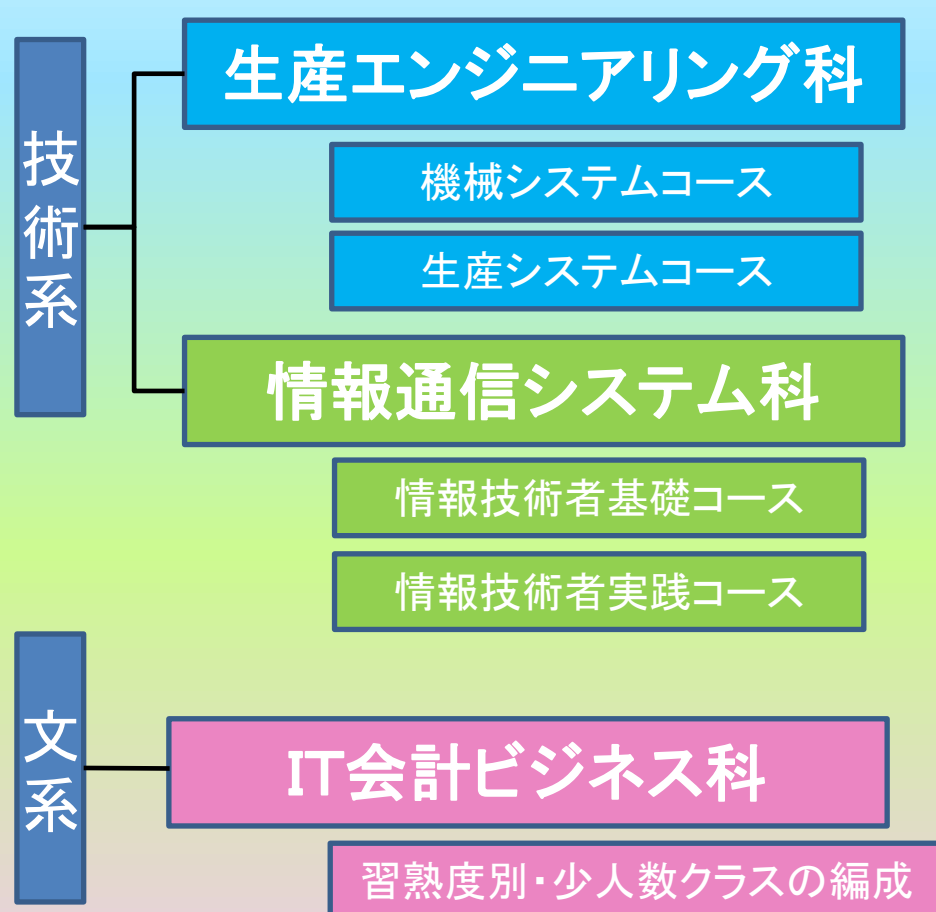
マスコット
キャラクター さんぎたん

○ 学科の変更内容

現在の学科・コース (各科定員20名)



変更後の学科・コース (各科定員20名)



山形県立産業技術短期大学校庄内校



〒998-0102

酒田市京田三丁目57番4号

<http://www.shonai-cit.ac.jp/>

TEL.0234-31-2300 FAX.0234-31-2770



生産エンジニアリング科

“ものづくり”のスペシャリストを目指します。

① 専門分野コースの充実

・生産エンジニアリング科は、機械系製造業で活躍できるエンジニアを育成します。

1年次ではメカトロニクスのための機械、電気・電子、制御の基礎を学び、2年次からは、コンピュータ支援による機械設計(3次元CAD)や加工技術(CAM)などを学ぶ機械システムコースと、工場の自動化(Factory Automation)技術やロボット関連技術等を学ぶ生産システムコースに分かれ、それぞれ専門分野を学びます。

② カリキュラムの見直し

・「**製造工程の事前検討技術**」、「**自動化生産システムの構築**」を新しくカリキュラムに取り入れたほか、卒業研究では専任教員の指導のもと、より専門の分野を深く学ぶことができます。

1年次主要科目

◆習熟度別訓練科目

【機械系科目】

◇材料力学 ◇機構学 ◇機械加工学 ◇工業材料学 ◆製図(2次元CAD)
◆測定法 ◇機械要素設計 ◆機械工作実習

【電気電子系科目】

◇電気工学 ◇電子工学 ◇電子工学実験

【制御系科目】

◇情報工学 ◇センサ工学 ◇シーケンス制御基礎

2年次主要科目

◆習熟度別訓練科目

【専門科目】

◇油圧・空気圧 ◇コンピュータ制御実習 ◇メカトロニクス実習
◆3次元CAD設計

○生産システムコース

・工場の自動化のためのシーケンス制御、ロボット、生産システムの応用技術などを学びます。

○機械システムコース

・数値制御による加工技術(NC加工)、CAD/CAM、コンピュータによる事前検討技術(CAE)などを学びます。

情報通信システム科

スマートな社会を実現する新しいサービスを提供するICT技術者を目指します。

① 必要な技術知識

・ICT(情報通信技術)は、「人與人」「人とモノ」それぞれの間で通信機能を介して情報のやり取りを行うことです。

今、あらゆる「モノ」をインターネットを介してつなげるIoT(Internet of Things)システムが身近なところでも活用されるようになり、IoTは単なる「モノの接続」が目的ではなく、つながることによって得られた情報を蓄積・分析して、最終的にはその情報を有効に活用するものです。そのために「**センシング**」「**ネットワーク**」「**クラウド**」「**AI(人工知能)**」などの**技術要素の知識が必要となります**。

② カリキュラムの見直し

・情報通信システム科では、特に注目されている「**クラウド**」「**AI(人工知能)**」などに**対応する科目の充実**を図っています。

この技術を身につけることにより、製造業、農業、流通・サービス業、医療・介護産業など様々な産業でビジネスモデルを提案できるICT技術者として、システム開発に携わることができます。

1年次主要科目

◆習熟度別訓練科目

【基礎科目】

◆ネットワークⅠ ◆ソフトウェア基本実習Ⅰ ◇計算機工学

【専門科目】

◆ネットワークⅡ ◆ソフトウェア基本実習Ⅱ ◇計算機工学実習 ◆データベース
◇問題解決の手法

2年次主要科目

◆習熟度別訓練科目

◆データ通信実習 ◆情報セキュリティ実習 ◆ソフトウェア応用実習

◆IoTシステム実習 ◇システム設計実習 ◇AI活用実習

◇情報技術演習Ⅱ(ビッグデータ解析) ◇情報技術演習Ⅲ(生産管理)

○情報技術者育成実践コース

・高校で情報技術の基礎を学んだ人が、その続きをさらに深く学ぶ。

○情報技術者育成基礎コース

・初学者が情報技術の基礎をゆっくり確実に学ぶ。

IT会計ビジネス科

IT会計ビジネス科は、企業会計とビジネス情報のスペシャリストを目指します。

① 企業会計分野:習熟度別科目のさらなる拡充

・日商簿記検定1・2級合格のための重要分野である**工業簿記・原価計算分野**を習熟度別に学ぶ、「**原価計算論ⅠA・B**」、「**原価計算論ⅡA・B**」を新設しました。

② 情報分野:「情報セキュリティ論」を新設

・ITパスポート試験(level 1)に加え、**情報セキュリティマネジメント試験(level 2)**を目指すことが出来るカリキュラムを新たに用意しました。

③「ビジネス実務」を新設

・接遇、ビジネスマナー、**ビジネスコミュニケーション**の実践実習科目を新たに用意しました。

1年次主要科目

◆習熟度別訓練科目

【基礎科目】

◇法学 ◇経営学 ◇経済学 ◇秘書実務 ◇OAシステム論
◇現代社会論Ⅰ ◇キャリア開発論Ⅰ ◇OAシステム実習Ⅰ

◆簿記論(習熟度別初学者クラス、3級クラス、2級クラス、1級クラス)

【専門科目】

◇販売技術論Ⅰ ◇情報システム論 ◇OAシステム実習Ⅱ

2年次主要科目

◆習熟度別訓練科目

【専門科目】

◇品質経営論 ◇ネットビジネス ◇マーケティング ◇財務会計
◇経営情報システム ◇ビジネス会計 ◇電子会計

●簿記会計系(選択)

◆上級簿記論ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB

◆原価計算論ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB

◇管理会計 ◇財務分析 ◇FP

●ビジネス情報系(選択)

◇WEBプログラミング ◇販売技術論Ⅱ

◇情報セキュリティ論 ◇ビジネス実務

◇経営管理論 他